

## はじめに

急速に進む少子・高齢化, 情報通信環境の進展など, 大きく社会が変化するなか, 身近な学習施設として図書館が果たさなければならない役割は, これまで以上に大きくなっています。

新潟市では, これまで市民の生活圏を基本に図書館を整備するとともに, 時代に合わせてその利便性を高めるなど, 市民ニーズに対応した図書館づくりを進めてきました。平成17年の広域合併による図書館網の拡大, 平成19年の中央図書館の開館を経て, いよいよ平成22年度には, 18館ある市立図書館のすべてをオンライン化し, 全館を回る配本車の運行と併せて, 図書館のネットワークが完成します。

「新潟市立図書館ビジョン」は, これを前に, 本市の図書館の理念とこれからの図書館像を明らかにするとともに, 新しい時代に対応する図書館を目指し策定しました。

2010年は, 社会全体で読書への機運を高めていこうとする「国民読書年」です。これまで以上に市民の読書活動をサポートし, 多様な課題に応え, 地域の情報拠点としての機能を強化しながら, 市民とともに成長する図書館を目指していきたいと考えています。

終わりに, 本ビジョン策定にあたり, 貴重なご意見をいただきました5つの図書館協議会を初め, 多くの方々に深く感謝するとともに, 本ビジョンの実現に向けて, 市民の皆さまからの一層のご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。



平成22年3月  
新潟市教育委員会  
教育長 鈴木 廣志